

Requested Patent: JP50021845A

Title: ;

Abstracted Patent: JP50021845 ;

Publication Date: 1975-03-08 ;

Inventor(s): ;

Applicant(s): ;

Application Number: JP19730074226 19730629 ;

Priority Number(s): JP19730074226 19730629 ;

IPC Classification: ;

Equivalents: ;

ABSTRACT:



(2000円) 特 許 願

昭和48年 6月29日

特許庁長官 三宅 幸夫 殿

1. 発明の名称

紙おむつ

2. 発明者

住 所

特許出願人と同じ

3. 特許出願人

住 所

神奈川県茅ヶ崎市東海岸南2丁目5番49号

氏 名

神 田 祐 一

4. 代 理 人

住 所

東京都中央区京橋3の5竹河岸ビル

電 話 561-5762

氏 名

(5614) 弁理士 野 沢 睦 秋

5. 添付書類の目録

- (1) 明 細 書 1通
- (2) 図 面 1通
- (3) 委 任 状 1通
- (4) 願書副本 1通
- (5) 出願書支払済書 1通

方式 特許  
48 7  
出願書 提出

①9 日本国特許庁

公開特許公報

①特開昭 50-21845

④3公開日 昭50.(1975) 3. 8

②特願昭 48-74226

②2出願日 昭48.(1973) 6. 29

審査請求 有 (全3頁)

庁内整理番号

⑤2日本分類

7030 35

121 N5

明 細 書

1. 発明の名称

紙 お む つ

2. 特許請求の範囲

紙おむつ本体が、吸水紙、綿より成る吸水体と不織布等より成る通水性の接触体、フィルムより成る防水体で構成され、かゝる紙おむつ本体の下半分を上半分上に折り重ねると共に下縁両側を内部に折り込み、できた2個の折り込み部片のうちの下部片を上半分に接合して外観をおむつかバーの形態とした事を特徴とする紙おむつ。

3. 発明の詳細な説明

本発明は紙おむつの改良に関するものである。

近時小児に衛生的、かつ快適なおむつを提供するためと、母親或は看護婦が、汚れたとき清

潔に取扱いができるために紙おむつの需用が多くなつて来たが、従来はその使用の際おむつ支持具、すなわちおむつかバー等を使用して汚物の漏洩を防ぐようにしている。

従つてその使用形態は従来の布おむつを使用するのと全く変りがない。

本発明は折る点を解決するためになされたもので、紙おむつ本体が吸水紙、綿等より成る吸水体と、不織布等より成る通水性の接触体と、フィルムより成る防水体で構成され、かゝる紙おむつ本体の下半分を上半分上に折り重ねると共に下縁両側を内部に折り込み、できた2個の折り込み部片のうちの下部片を上半分に接合して外観をおむつかバーの形態とした事を特徴とし、使用を簡単にすると共におむつ支持具と共に、あるいはこれ無くして単独でも使用し得るよ

ようにしたものである。

以下本発明の一実施例を図面について説明する。1は紙おむつ本体で、吸水吸紙の重合布より成る吸水体2に、不織布より成る通水性の接触体3とポリビニールアルコールの共重合体製のフィルムを防水体4として重合し、防水体4の両端縁5a、5bを吸水体2と接触体3の間に折込み、これらの重合部分を周面が凹凸の加熱ロールにより加圧して接合6a、6bし、次で両端を前記同様凹凸の加熱ロールにより加圧して接合7a、7bしたものとし、かゝる紙おむつ本体の上半分8a、に下半分8bを二つ折りして重ね、かつその際下半分8bの上端縁を上半分8a上端縁より少し内側とし、次で下縁両端を内部に折り込み、できた2個の三角状折り込み部片9a、9bのうち、下部の折り込み部片9b

除去したりえて下半分8aの防水体4面に貼着させて装着するものである。このようにして装着すると、オ6図で明かなように小児の皮膚面はすべて接触体3面と接することになるので不快を感じることはないし、又下縁部分は三角状の折り込み部片によつて紙状を形成しているので該部分にちょうどお尻が位置するので装着が容易であり、かつ汚物の漏りともなつて外部への漏洩を防止する役目をなす。従つておむつ着用時外の支持具を使用したり、パンツ等を使用したりしてもよいがおむつ単独で充分使用し得る。

尚、下縁両端部の折り込み部片8a、8bのうちの一方の部片8bの上半部8a面への接合は三角部全体を接合してもよいし、図面に示すように部片8bの上端縁において接合してもよい。

を上半分8a面に接合し、その外観をおむつカバー状に形成して成るものである。

尚、10a、10bは上半分8aの上端両側に附設した剥離紙付きの貼着片で一端を防水体4に貼着して形成されている。また前記吸水体2は、オ2図に示すように吸水吸紙の重合布を両端部分を少くして中隔とするために例えば中心部分を改裁、上下を1〜3枚程度とし、上下両端部も同様とする。そうするとおむつ本体1の形成時四周の接合が充分に行えるし、使用時に便利であるし、使用者に不快感を与えない利点がある。

本発明による紙おむつの使用はオ6図に示すように下半分8bを拡げ、上半分8aを小児のお尻の下に介装し、次で下半分8bをお腹の上に重ね、上半分8b両側の貼着片10a、10bを剥離紙を

また吸水体は吸水紙のみによることなく綿或は吸水紙と綿を共用してもよく、更におむつ本体はその素材を高湿水、または食品により溶解し、廃液により解し得るものを使用したものを含むことは勿論であるし、上半分と下半分の結合は実施例のように貼着片による外、クリップ、結び紐によるもよく、結び紐を使用する場合には外れないように適宜個所に輪索を附設するとよい。

#### 4. 図面の簡単な説明

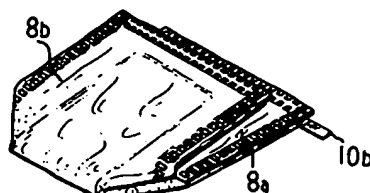
図面は本発明の実施の一例を示し、オ1図は斜面図、オ2図乃至オ5図は構成順序を示し、オ2図はおむつ本体の斜面図、オ3図はオ2図A-A線の横断拡大端面図、オ4図は二つ折状縁を示す斜面図、オ5図はオ4図において下縁両端を内部に折り込み、折り込み部片の一方を

第1図

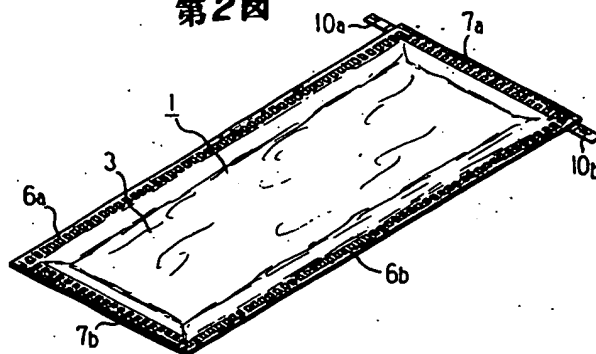
破損した状態を示す斜断面、才6図は使用のため  
に展開した斜断面である。

1 - 紙おむつ本体 2 - 吸水体 3 - 接合部  
4 - 防水体 5a、5b - 両通線 6a、6b - 接  
合部 7a、7b - 接合部 8a - 上半分 8b  
- 下半分 9a、9b - 折り込み部片 10a、10b  
- 粘着片。

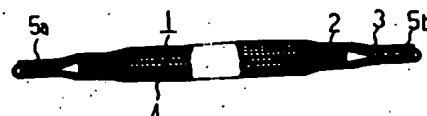
代理人弁理士 野 沢 隆 秋



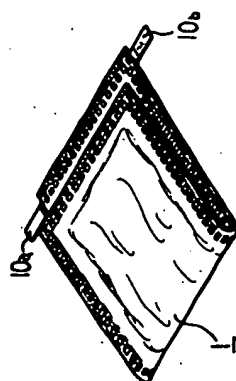
第2図



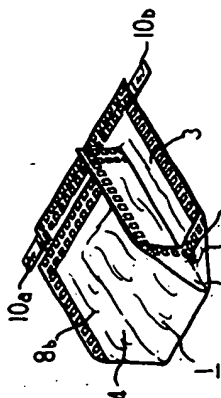
第3図



第4図



第5図



第6図

